「徳島県藍推進月間」企画展示 blue2@Tokushima LED∞藍

藍染 暖簾展 連動

Indigo

ΔI

possibility

<u>徳島県立城西</u>高等学校 農業科 紹介展示

展示会期: 2022年7月7日(木) ~ 8 月9日(火)

時 間:10:30~18:30

入場 料:無料

会 場:リビングデザインセンターOZONE 7階

blue²@Tokushima LED∞藍

主 催: 徳島県 blue²@Tokushima LED∞藍

企 画:リビングデザインセンターOZONE(東京ガスコミュニケーションズ株式会社)

問 合せ:03-5322-6500(代) 10:30~18:30 水曜日休館(祝日除く)



県民の藍に対する関心と理解を深め、徳島県の藍に関する文化の継承及び産業の振興を図り、あわせて国内外に向けた藍の魅力を発信するため、「とくしま藍の日及び徳島県の色を定める条例」を制定。

*「藍推進月間」

「藍の日」の条例に基づき、毎年7月を「藍推進月間」と定め、様々なイベントを通して、藍の魅力発信に取り組んでいます。

* 徳島県立城西高等学校 植物活用科 阿波藍専攻班

徳島県立城西高等学校 植物活用科では、草花やタデアイの栽培、バイオテクノロジーをとおした「交流から学ぶ緑活用術」をモットーとし、植物を取り入れた快適な生活空間の創造と文化の伝承に力を入れ、地域との交流を積極的に行い進路実現に向け、様々な分野で活躍できる将来のスペシャリストを育成しています。

農業科の中の一つ、植物活用科 阿波藍専攻班では、伝統文化といえる「藍」についての研究をしています。

この展示では、タデアイ栽培から染料「すくも」づくり、製造した「すくも」を活用し、伝統的な「天然灰汁発酵建 て」による本藍染め、さらに本藍染め製品の販売まで、生産から販売までの一貫教育の取り組みの成果を披露します。

是習且景



草花苗の管理実習



草花立体装飾の準備



ヨガウエアの本藍染め



藍畑での除草実習



Young power

無菌培養



シンビジウムの管理



オリジナル藍商品

Living Design Center OZONE



展示のお問い合わせ等は以下のメールアドレスにお問い合わせください。 led tokushima01@mail-ozone.jp

〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー リビングデザインセンターOZONE (東京ガスコミュニケーションズ(株)) Tel:03-5322-6500(代) 10:30~18:30 休館日:水曜日(祝日を除く) 8/10(火)~13(金)は夏期休館となります。 JR 新宿駅南口から徒歩約12分 京王線初台駅から徒歩約8分 小田急線参宮橋駅から徒歩約8分 都営大江戸線都庁前駅から徒歩約8分 城西高校西農場の藍畑(2,000㎡)に定植しました。 およそ6,500株もありましたが、皆で協力し、丁寧に植え付けました。 これから1年間かけてかん水や除草、中耕、追肥などしっかりと管理していきます。

定植前のタデアイ苗









生物活用の授業中に花壇に食用のタデアイ苗を500株ほど定植。 食用の藍は「赤茎小千本」という品種です。無農薬で栽培します。

全員でレーキを使ったならし作業





丁寧に定植を行う様子

一列に植えられた食用の藍の苗



藍の甕に灰汁と熱湯, そして原料の蒅(すくも)を注ぎ込みます



2年生が課題研究の授業で、 イベント等で着用する藍染 Tシャツを染色しました。 それぞれがオリジナルのデ ザインを考えていました。 これから様々なイベントで 活躍してくれます。



「AWA & OUR BLUE」の本校オリジナルタグをつけて、本藍染めの城西高校プランド商品としてマフラータオルやストール、タオルハンカチ、Tシャツ さらには食藍を使った焼き菓子などを、様々なイベントや校内に設置されている「そよかぜ販売所」で販売しています。

オリジナルタグやロゴマークをあしらった本藍染め商品の数々





「食べる藍シリーズ」 左からスノーボール、フェナンシェ



藍ジェラート



徳島インディゴソックスの選手が試合で着用するソックスを本校の阿波藍専攻生が染めさせてもらっています。 スタジアム入り口付近でマフラータオルやタオルハンカチ等の藍染め商品や食藍を使用した洋菓子も販売しました。

試合開始前にグランドで藍染めのPR インディゴソックス





入り口付近での販売の様子①



入り口付近での販売の様子②

